

感染症情報

5月19日～25日(第21週) 神垣小児科

流行の程度および推移は、今週だけではなく過去2～3週間も含めて、院長の判断で決めたものです。
あくまでも神垣小児科を受診された患者さんからの情報です。流行は地域によって異なります。

	疾患名	流行の程度	流行の推移	コメント
①	麻疹	★		
②	風疹	★		
③	水痘 (みずぼうそう)	★★	↑	増加傾向です
④	ムンプス (おたふくかぜ)	★		
⑤	百日咳	★★	↑	当院1例目です
⑥	溶連菌感染症	★★	→	減少傾向です
⑦	肺炎 (マイコプラズマなど)	★		
⑧	ロタウイルス性胃腸炎	★★★	↓	減少傾向です
⑨	その他の胃腸炎 (ノロウイルスなど)	★★	↓	減少傾向です
⑩	伝染性紅斑(リンゴ病)	★★★	→	コンスタントにみられます
⑪	手足口病	★★	↑	増加予想
⑫	ヘルパンギーナ	★		増加予想
⑬	咽頭結膜熱(プール熱)	★		増加予想
⑭	アデノウイルス感染症	★★	↑	増加予想
⑮	上記(⑪⑫⑬⑭)以外の 夏かぜ症候群	★		増加予想
⑯	RSウイルス感染症	★		
⑰	インフルエンザ	★★	↓	まれにみられます
⑱	新型コロナウイルス感染症	★★	↓	まれにみられます
⑲	ヒトメタニューモウイルス感染症	★		
⑳	その他のかぜ症候群	★★	→	高熱、咳があります

全体的に感染症は減少傾向で現在特に流行している病気はありません。1月末頃から増加した「ヒトメタニューモウイルス感染症」および2月中旬頃から増加した「RSウイルス感染症」はみられなくなりました。「感染性胃腸炎」も減少傾向ですが2月中旬頃から流行した「ロタウイルス性胃腸炎」やその他のウイルスによる胃腸炎はまだみられます。「溶連菌感染症」は減少傾向ですが「伝染性紅斑」はコンスタントにみられています。また「水痘」も小学生にみられます。「インフルエンザB型」「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)」は非常にまれになりました。「百日咳」は当院で第1例目がありました。今後増えてくるかもわかりません。今後増加が予想されるのは「ヘルパンギーナ」「手足口病」などの「夏かぜ症候群」です。

★	なし
★★	たまにあり
★★★	時々あり
★★★★	流行中
★★★★★	大流行中

↑	増加傾向にある
↑↑	著しく増加傾向にある
→	変化なし
↓	減少傾向にある
↓↓	著しく減少傾向にある